

令和4年度 勝山中学校 自己評価及び学校関係者評価書

学校の教育目標	志を持って学び未来を切り拓く人間力を持つ生徒の育成				自己評価			学校関係者評価	
本年度の重点目標	○キャリア教育の推進と学力向上				4	90%達成	とてもよい	学校関係者評価は、学校の自己評価が適切かどうかを学校関係者評価委員の皆様へ評価していただくものです。 「適切」あるいは「不適切」と評価した人数をそれぞれの 学校関係者評価委員の人数(4)人 学校評議員4名(PTA会長含む)	
	○社会性の育成(思いやり・挨拶・礼儀・言葉遣い・コミュニケーション能力・規範意識・集団所属意識の醸成)				3	70%達成	よい		
	○道徳教育の推進				2	60%達成	まあまあ		
					1	60%以下	いいえ		
重点目標	評価項目	生徒	職員	保護者	評価	結果(成果と課題)		評価	学校関係者評価委員からのコメント
確かな学力	学習規律が保たれ、集中できる環境を維持している。	3.5	3.5	3.3	3	○数学・英語を中心にTT授業を行っている。また、各学年で低学力の克服に向けて試験前等の放課後等の補充学習に取り組んでいる。委員会活動とは別に英単・漢字コンクールに全校で取り組んだ。 ○「書く」活動を重視した授業に取り組み、考査問題にも「書く」問題を導入し、思考力・判断力・表現力の向上を目指している。 ○家庭学習を計画的に実施させるために週末課題や自学ノートの取組が定着してきた。 △各行事の中止や縮小を受け、体験的な活動が不足している。	自己評価は適切 4人	○課題にも取り上げられている各行事の中止や縮小の影響を受けての体験活動を、今後どのような形ですすめていくかが課題だと思います。 ○適切である。 ○コロナ禍であるとは言え、KGG・夢授業など積極的に企画されており、生徒の評価も高く良い。 ○新型コロナウイルスの影響により授業に制約がある中、教員の工夫により教員の自己評価より生徒の評価の方が高い点について職員の努力を感じる。	
	わかりやすい授業づくりや工夫がなされている。	3.7	3.4	3.3	3				
	生徒が学習内容を理解し基礎的な学力を身につけている。	3.6	3.5	3.3	3		自己評価は不適切 0人		
	体験的な学習や問題解決的な学習がなされている。	3.6	2.9	3.3	3				
	宿題、予習・復習など家庭学習が計画的に行われている。	3.7	3.2	3.2	3				
豊かな心	生徒は学校生活を楽しく安心して送っている。	3.6	3.5	3.4	3	○生徒は元気に挨拶することができ、明るい表情で学校生活を送っている。 ○生活アンケートや自学ノートでの教師との連絡欄を活用し、安心できる学校生活作りを継続して行う。 △今年度は、2学年で「夢授業」を行うことができたが、目標を持って学校生活をおくれるように、自分の将来について考えるキャリア教育の充実がさらに必要である。	自己評価は適切 4人	○挨拶は大変良くできています。 ○成果がでている。 ○多くの生徒が学校生活に満足していることが分かる。 ○可もなく不可もなくといったと所だが、総じて3以上なので成果は上がっていると思う。	
	生徒は目標を持って学校生活を送っている。	3.4	3.2	3.1	3				
	生徒は清掃や奉仕活動に進んで取り組んでいる。	3.5	3.7	3.4	3		自己評価は不適切 0人		
	生徒には学級の一員として活躍する場が与えられている。	3.7	3.5	3.2	3				
	生徒は気持ちのよい挨拶ができる。	3.5	3.7	3.4	3				
健やかな体	生徒は規則正しい生活(早寝・早起・朝ご飯)が送れている。	2.8	3.2	2.9	3	○部活動において顧問や外部指導者の指導の下、放課後のみならず休日においても熱心に練習や活動に取り組んでおり生徒達の満足度も高い。 △生徒や保護者は、規則正しい生活が送れていると感じている割合が低く、携帯電話やゲームを使用する時間が多い生徒もいるため、本人や家庭との啓発が今後さらに必要である。	自己評価は適切 4人	○部活動は大変活発に取り込まれていると思います。携帯電話やゲームの使用時間は年々増加傾向なので、対策が必要だと思います。 ○課題解決に向け、取組ができています。 ○規則正しい生活については家庭での取組がもう少し必要である。 ○規則正しい生活については生徒・保護者の評価が低い。教員も実態把握をする必要がある。	
	生徒にとって部活動は楽しく充実したものになっている。	3.5	3.6	3.4	3				
	食育や健康教育の充実が図られている。	3.6	3.5	3.2	3		自己評価は不適切 0人		
信頼される学校づくり	学校は、家庭や地域へ積極的に情報を発信している。	3.6	3.7	3.4	3	○学校・学年・学級ともに定期的に通信を発行し学校の様子を家庭に伝えている。また、HP等にも主な行事の連絡事項を掲載し、緊急連絡等ではメール等の活用も行っている。 △より地域への積極的な情報発信を積極的に行っていく必要がある。 △教師・保護者が連携を密に取りながら、これからも信頼される学校教育を目指して取り組んでいく必要がある。		自己評価は適切 4人	○勝山中学校については地域からの信頼は良いと思います。 ○地域と学校との関係は良く、今後も継続していただきたい。 ○保護者の評価が低い傾向にある。情報発信の方法を考える必要があるかもしれない。
	学校は、生徒や保護者、地域の声を聞く機会を設けている。	3.4	3.0	3.2	3				
	いじめのない明るい学級・学校づくりに努めている。	3.5	3.8	3.3	3		自己評価は不適切 0人		
	問題の解決に保護者や地域と連携をとりながらあたっている。	3.6	3.8	3.2	3				
	生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じている。	3.7	3.8	3.4	3				